

## 令和3年度 林業振興課 施策方針

### ◎ 令和3年度予算（一般、特別会計の合計 職員費は除く）

事業費：19億3,068万円（22事業）

{	令和3年度当初予算	事業費：18億2,225万円（22事業）
	令和2年度補正予算	事業費：1億843万円（3事業）

※3事業が令和3年度当初事業と重複

### ◎ 重点施策

#### 1 林業・木材産業の成長産業化

豊富な森林資源を活用し、造林・伐採から加工・流通、販売までの一貫したシステムを構築するとともに、低コスト林業の推進により素材生産量の拡大と紀州材の需要拡大・競争力強化を図る。

##### （1）低コスト林業及び循環型林業の推進

- ・ 林道等基幹道の整備促進と新規林道の掘り起こし
- ・ 作業道等の路網や山土場の整備、高性能林業機械等の導入
- ・ 森林施業の省力化を図る油圧式集材機や架線式グラップル、林業用資材運搬ドローン等の普及を支援
- ・ 森林組合と民間事業体の事業連携等による生産・供給体制の強化
- ・ 原木の需給調整・安定供給の推進  
（木質バイオマス発電や新設木材加工場の稼働を踏まえた木材供給体制の整備）
- ・ 航空レーザ計測等の新技術を活用した高精度な森林現況把握と活用の推進
- ・ 林地台帳の精度向上
- ・ 上記の取組に必要な試験・研究の推進

##### （2）紀州材の販路拡大と需要拡大

- ・ 首都圏をはじめとする大消費地での販路拡大  
（紀州材を取扱う県外工務店の取組支援を通じ、都市部での新たな紀州材流通シェア拡大を図る。）
- ・ 公共建築物などの木造・木質化の推進と公共土木工事への利用促進
- ・ 建築士による木造建築の普及啓発の強化  
（和歌山県建築士事務所協会に市町村施設の木造・木質化に対する相談窓口を設置）
- ・ 木質バイオマスの利用促進
- ・ 新たな用途開発の推進
- ・ 原木市場の活性化支援  
（丸太の付加価値向上のため、原木市場での強度表示等の取組を支援）
- ・ 上記の取組に必要な試験・研究の推進

#### 2 林業の担い手の育成・確保と活力ある山村づくり

森林経営管理制度の確実な実行をはじめ、適切な森林整備等に必要となる新規林業就業者の確保及び実践的な技術・知識をもった技術者を育成するとともに、特用林産物の振興や生活環境整備を図り、活力ある山村づくりを推進する。

### (1) 林業の担い手の育成と確保

- 農林大学校林業研修部の研修生に対する県独自の給付金制度や国の給付金制度を活用し、入講定員数を確保
- 紀州林業の魅力・情報を広く発信し、新規就業者を確保  
(オンライン等を活用し、さらに広く発信)
- 就業相談から林業体験、就労斡旋までを一貫して支援  
(わかやま林業労働力確保支援センターが林業無料職業紹介事業を実施)
- 林業従事者に対し、高度伐木技術や選木技術等のスキルアップを推進
- 意欲と能力のある林業経営者の育成に向けた研修を実施
- 農林大学校林業研修部に最新の林業機器等を整備  
(油圧式集材機、架線式グラップルを導入)

### (2) 活力ある山村づくり

- 特用林産物等の振興と山村資源の新たな活用  
(紀州備長炭やサカキのブランド力の保持、後継者の確保)
- 生活環境整備の促進と山村情報の発信・啓発活動
- 上記の取組に必要な試験・研究の推進

## 3 森林経営管理制度の円滑な運用・森林環境譲与税を活用した森林整備の促進

災害防止・国土保全機能強化等の観点から増額される森林環境譲与税を活用し、間伐等の森林整備を強く促進するとともに、市町村が行う森林整備等の取組を積極的に支援する。

- 意向調査の結果や森林所有者からの申出を活用した間伐等の早期実施を促進
- 市町村職員に対する森林・林業業務の実務研修や森林管理制度等の巡回指導を実施  
(森林環境譲与税の計画的な活用及び円滑な実施体制の確保：基金積立の縮減)
- 森林経営管理制度等の普及啓発